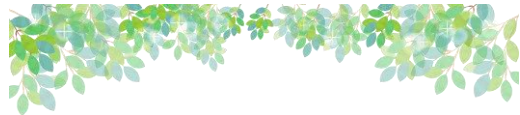


月刊

# 書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No109～



令和6年(2024年)

4・5月合併号



(編集長・渡邊啓子)

## 目次

- ◇ご挨拶(会長・大平恵理) . . . . . 2
- ◇第9回臨書展について . . . . . 3
- ◇第2回書検案内 . . . . . 7
- ◇令和6年度会員のお誘い . . . . . 8

一般社団法人日本書字文化協会(書文協)

本部 〒164-0001 東京都中野区中野2-11-6 丸由ビル3階  
電話03-6304-8212 / FAX03-6304-8213  
メール info@syobunkyo.org  
ホームページ <https://www.syobunkyo.org>

# ご挨拶

一般社団法人・日本書字文化協会

代表理事・会長 大平 恵理



新しい年度が始まり、ちょうど落ち着いて頃ではないでしょうか。コロナ禍で控えていた活動も徐々に元に戻り、更に活発化してきたことを実感しています。

書文協では、第2回全日本書字検定試験『書検』のご案内を始めました。前号でお伝えした予定が少し後ろ倒しとなりましたが、ぜひ取り組まれますようお願い申し上げます。

『書検』は私たちが永く構想を温めていたものです。書写書道では、評価がとにかく上手いかどうかに終始しがちですが、『書検』では何を学んだかが評価され、コンクールと同様、学習指導要領に合わせて内容が組みられています。

第1回の令和5年度は、トライアル実施のため試行錯誤することが多く、採点基準や採点方法、出題内容や問題数など一から検討を繰り返し、何度もやり直して進めました。筆記で問われる観点語句の学びは、実技の表現力を整理し定着させる作用があり、学習効果を上げている実感をつかみました。前述しましたが、どれだけ上手く書けたかが評価されるのではなく、受験することによって学んだことが言葉で明確化されるのが『書検』の特徴となっています。

筆記と実技は1:1の比率で、8級～3段までは合わせて100点満点で採点されます。まだ思うように書けてないと感じても、筆記試験の得点が実技の得点を補います。また、実技の採点項目は、筆記で覚える観点語句に即しているため、観点語句を覚えることによって、実技の練習を何に気をつけて進めればいいかが明確となります。

今年度は8級から3段までの11ランクで実施いたします。合格すると段級認定証と合格バッジが付与されます。合格バッジは学位帽をかぶった鳳凰を配した各段級色違いのデザインで、結果の受け取りも楽しみにしていただけないかと思っております。

今年度の秋に行われる東京都美術館での第56回国際書法芸術展の博選証には、令和5年度ひらがな・かきかたコンクールからただ今開催中の第9回臨書展までが候補となります。近くなりましたらまたご案内いたしますので、秋にはどうぞ東京都美術館までお運びください。

# 第9回臨書展開催

## 大賞に九州の高2、星本京香さん

書文協主催の第9回臨書展は令和6年4月20日締め切られ、合計1261点(8回1146点)の出品がありました。前回より約10%の増加です。審査は5月3日、加藤東陽・書文協中央審査委員長、加藤泰弘・同委員によって行われ、大賞など特別賞6点、優秀賞13点、教育特別奨励賞4点などが決まりました。

大賞の星本京香さんは佐賀県立武雄高校の2年生。臨書自由課題を書いて入賞しました。団体に入ってはず個人出品での快挙です。

(入賞作品の写真は6ページ)



### <各部門出品数>

第9回(第8回)

臨書常設課題 363点(327点)

臨書自由課題 243点(213点)

楷書書写 655点(606点) 合計1261点(1146点)でした。

恒例の優秀作品展は5月31、6月1、2日に大日本寒山寺のある東京都青梅市の多摩川溪谷沿い澤乃井ガーデンギャラリー(東京都青梅市沢井 2-770)で開催されます。開催時間は11時から16時(2日は14時まで)。入場無料。初夏の多摩川上流は格別の趣があります。是非おいでください。

書写書道は世界に誇る日本の伝統文化であり、前回から外務省の後援をいただきました。

第9回臨書展後援団体は次の通りです。

<以下、在日本>

外務省、青梅市、中華人民共和国駐日本国大使館文化部、東京都青梅市日本中国友好協会、中国書法学院、国際芸術家連盟、NPO 法人日中文化交流促進会

<以下、在中国>

蘇州・寒山寺、蘇州呉昌碩研究会

### <特別賞受賞者6名>

- ❖大賞 星本京香(佐賀県立武雄高等学校2年)
- ❖中国大使館文化部賞 佐藤萌々香(神奈川県・中央大学附属横浜高等学校3年)
- ❖中央審査委員会賞 蜷川希衣(東京都中野区立桃園第二小5年)
- ❖日本書字文化協会会長賞 植西美侑(一般、大阪府)
- ❖青梅市日本中国友好協会会長賞 中野明舞音(大阪府立摂津高等学校1年)
- ❖日中文化交流促進会理事長賞 関口美夢(東京都立上水高等学校1年)

## <優秀賞受賞者 13 名、教育特別奨励賞 4 名>

### ❖ 優秀賞

小 3＝渡邊愛紗（神奈川）、小 4＝大柿宗太郎（大阪）、小 5＝田中羽夏（大阪）、  
中 2＝小林穂乃香（埼玉）、高 1＝鮫島麻里菜（東京）、大 2＝葉山弘一（宮城）、  
大 4＝石原颯（東京）、一般＝杉山優美（千葉）、野本由美子（東京）、  
杉本龍峰（山梨）、池永龍斗（大阪）、榎本蒼（大阪）、石井美希（愛知）

### ❖ 教育特別奨励賞

小 5＝安部遙仁（東京）、中 2＝蜷川千衣（東京）、  
一般＝大野俊壽（福島）、一水ちさ子（福岡）

## ご挨拶 臨書展実行委員長 渡邊 啓子（書文協副会長）



「楓橋夜泊」の詩をテーマに始めた臨書展も今年は第 9 回を迎えました。回数を重ねる中で、楷書書写、常設課題に加え自由課題を設け、その後も取り組みしやすいように文字数設定を変更したり検討を続けています。そのような中で初めて筆を持った方が行草体や二行・三行書き等の作品を寄せてくださるようになり、主催者としても大変嬉しく思います。

今回も東京都青梅市にある「大日本寒山寺」に隣接した澤乃井ガーデンギャラリーにて優秀作品展を行います。自然豊かな憩いの地で、色々なものを吸収していただければと思います。

## 受賞者コメント集

第 9 回書文協臨書展で特別賞授与を受けた 6 人の方に、受賞のコメントを書いて頂きました。紙面の都合から、一部割愛するなど編集の手を入れさせていただきました。文責は編集部にあります。全文は、近くホームページに 掲載予定です。ご了承ください。

### ◆大賞

星本京香（佐賀県立武雄高校 2 年）

#### 書道を続けてきて良かった

受賞の知らせを聞いた時、書道を続けてきて良かったと感謝の気持ちで一杯になりました。高校では芸術の授業で書道を選択し様々な古典を学びました。その中で「孔子廟堂碑」の品格のある柔らかかで伸びやかな線に魅了され、この作品を書き始めました。自分らしさを作品の中で表現することは本当に難しく悩みました。しかし練習を重ねていくうちに柔らかな雰囲気が出せるようになっていったのではないかと思います。その結果このような賞を頂くことができ本当に感謝しています。

## ◆中国大使館文化部賞

佐藤萌々香（神奈川県・中央大学附属横浜高等学校 3年）

### とてつもなく充実した時間

お手本を忠実に再現すると同時に自分の作品として「自分らしさ」を出すことを意識しました。私にとって書道とは10年以上の付き合いで、切っても切り離せない存在です。書道をしていると日常の生活を忘れて、その文字だけに向き合いひたむきに努力が出来ます。そんな時間が私にはとてつもなく充実したものになっています。

書道はほんの少しの力の入れ方、筆をはしらす速さ、筆の向きなどで全く印象の変わった作品になります。

## ◆中央審査委員会賞

蜷川希衣（東京都中野区立桃園第二小学校 5年）

### スポーツも書道も好き

はじめは、うまく書けない時が続きましたが、先生からのアドバイスをもらい、少しずつうまくなっていきました。次の字に進む時は、前回の時にももらったアドバイスを活かして書いています。私は左利きなので、はじめは上手に筆が持てませんでした。でも、練習することで筆を持てるようになりました。

私はスポーツが大好きで水泳や体操などを習っています。書道は体を動かす事ではないですが、字を書くことも大好きです。

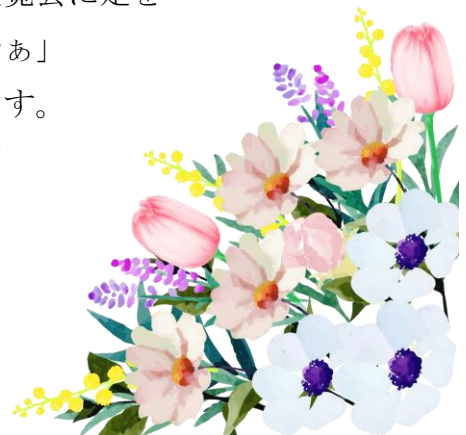
## ◆日本書字文化協会会長賞

植西美侑（一般、大阪府）

### インパクトある色配置に

今回、私は『香紙切』のかな臨書に挑戦しました。特徴の1つでもある、細い線でリズムカルに一気に流れる長い長い連綿には苦勞しました。時に大胆に、時に繊細に変化する筆の動きを捉える努力が必要でした。また、以前展覧会に足を運んだ際に「濃い単色の紙の配置を工夫すると綺麗だなあ」と感じていたので、思い切って格子模様に配置しています。

「香紙」の名称にあるお香の匂いや防虫を兼ねて染めていたという紙の由来を意識したインパクトある色配置になったと感じています。





## ◆青梅市日本中国友好協会会長賞

中野明舞音（大阪府立摂津高等学校1年）

### 初の落款印に苦労

今回一番苦戦したのは落款印です。私は今年から高校生になり、初めて作品の最後に落款印を押しました。同じ書道教室に通っている高大生、一般の方達が印を押している様子は簡単に見えていましたが、いざ自分で押してみると本当に難しかったです。今回一番上手くいった作品に押した印がぶれてしまい、涙を飲む思いでもう一枚書くことになってしまいました。本当に悔しかったです。それと共に、それぞれの古典から一つ一つの特徴や美しさを感じ、一枚の作品を仕上げる難しさを改めて実感しました。

## ◆日中文化交流促進会理事長賞

関口美夢（東京都立上水高等学校1年）

### 臨書で中国での学生交流にも

臨書展は普段と違う取り組みができるので毎年楽しみにしています。私は行書が好きで、今まで楷書は選ばなかったのですが、学校の書道では楷書から始まるので、今回は楷書を書いてみることにしました。楷書といってもそれぞれに特徴があるため、課題を決めるのも迷いましたが、九成宮を選び、すっきりした線を目指しました。

幼い頃から出品する中で「臨書」というものに触れ、小学5年生の時に「第1回日中青少年書画友好交流コンクール」に出品する中で、中国での学生交流に参加し、お互いの書き方を学びました。



第9回臨書展優秀作品展 特別賞作品

# 令和6年度書検実施のご案内

書検（全日本書字検定試験、公益財団法人文字・活字文化推進機構後援）の実施は昨年度に続いて2年目になります。前期は5月後半、後期は11月前半の実施予定。しかし、今年度の前期は6月16日から7月15日の間の実施とします。とても有意義な試験です。詳細は改めて広報しますが、多くの方の参加を期待します。

書検は、字の上手さを審査するのではなく、学習指導要領に定められた書写書道の基本が何処まで身に付いているかを硬筆・毛筆併せて学年段階ごとに知識・技能にわたって調べる全国で初めてのテストです。書写書道の学びを深め、書道を生涯学習にするために行われるものです。

## 8級から3段まで11ランクで実施

受験ランクは8級から8段まで16ランクありますが、今回は8級から3段まで実施されます。段級ごとに指定された硬筆・毛筆両方（8-4級は硬筆のみ）の課題を、手本を見ずに書く実技試験と、図を見て評価の観点語句の意味を問われる筆記試験で構成されます。何段・級を受験するか、担当の先生と相談して決めてください。半月（今年度の前期試験は1ヶ月）ほどの期間内のどれか1日を選んで、教場などで実施してもらいます。費用は、初年度はトライアルでしたので無料としましたが、今年度は先に配る観点語句一覧表を含め有料（段級により異なります）とします。所要時間は段級により異なります。



書検は字の上手いかどうかを競うものではないので、教室全体で和気あいあいと取り組むのに適しています。そして、書塾メンバーの書写書道に対する理解度が分かり、その後の指導の力のいれどころが分かります。

また、この試験は、試験を受けることによって「覚える」ことを重視しており、試験出でてくる語句・用語の一覧表（観点語句の一覧表）を受験者に事前に配ります。それによって、例えば「止め、はね、払い」とはどういう事か等を覚えます。是非、ご検討ください。



# 書文協会員のお誘い

日本書字文化協会の活動を理解し、支えていただく会員を募集しています。会員組織は緩やかな連合であり、すでに所属しておられる社中などを排除するものではありません。書文協は流派を超えた書の生涯学習を目的としており、会員の会（きらら会）は会員同士の情報交換、学び合い、親睦の場としてご利用ください。

会員の認定、年会費、減額特典等を定めた会員規則（抜粋）も付記します。よろしくご検討ください。

## 令和6年度会費納入のお願い

振込み用紙を同封いたします。会員種別など必要な事項を振込用紙にご記入ください。領収書が必要な場合は同用紙の振込欄にその旨お書きください。なお、新会員をご推薦いただけるようお願い申し上げます。4月・5月入会の場合、入会金無料としていますが、今年度は夏季期間（6・7・8月）中に入会まで、入会金無料期間を延長します。

### 普通会员の年会費

コース	年会費	減額（割引）率
A	3,000円	5%
B	6,000円	10%
C	12,000円	15%

### <割引き>

大会・検定・ライセンス・講習会受講料等が割り引かれます。会員種別により割引率は異なります。詳細はお問合せください。

### <研修・情報交換の場として>

- ◎書文協主催の講習会、展示会等の参加案内は会員を優先して呼びかけます。
- ◎機関紙・月刊書字文化(ウェブ版)に自分の教室の行事等を寄稿し、掲載できます。

### <きらら会の利用>

- ◎きらら会は会員なら自由にお使いいただけます。各地での講習会場を取る場合など、きらら会名で申し込みしていただいで結構です。
- ◎会員団体が数団体集まって地域講習会を企画される場合、書文協はスケジュールを最優先して対応します。